



この人と一緒になら 怖くても怖くない



社会学者の宮台真司さんと教育ジャーナリストのおおたとしまささんの対談本『子どもを森へ帰せ』を読んでいるのですが、冒頭からおもしろいことがたくさん書かれています。

◇法より掟

ホームベースが盤石な人はバトルフィールドで冒険し、ホームベースがスカスカな人は日和る。なぜか。損得勘定を超える人間関係がない。つまり家族や恋愛の私的領域でさえ交換ベースが専らで贈与ベースがないから。なぜ法と計算を超える絆がないのか。80年代新住民化で、身体的・感情的に劣化したから。

◇処方箋は単純

失われた身体と感情の能力を取り戻す(には)、万物に開かれた感受性を取り戻す以外ない。…子どもを外に連れ出す。…今回そこに森のようちえんが加わりました。

◇非認知能力がないと勝ち組になれない？

「非認知能力がないと勝ち組になれない」という指摘自体が劣化の表れです。言外・法外・損得外の「同じ世界」で「一つになる」身体能力と感情能力が劣化すれば力を奪われて「つまらない毎日を送る」という認識だけが重要で、要は「なぜあなたの毎日はつまらないのか」「なぜあなたはつまらない奴なのか」という問いが大切です。

◇この人と一緒になら怖くても怖くない

シユタイナーいわく、7歳までの第一臨界期の焦点「世界にわくわくする身体能力」が14歳までの第二臨界期の焦点「世界を言語外で味わう感情能力」の前提。これを最新の生態心理学では「共同身体性」とも言います。

この共同身体性が「カテゴリーを超えたフュージョン」を体験させ、この「言外・法外・損得外」の「同じ世界」で「一つになる」身体的営みが、「法より掟が優位」「交換より贈与が優位」の感情的営みを可能にします。「この人と一緒になら怖くても怖くない」という体験を思い出せる人は、例外なくこうした記述に納得できるでしょう。(以上本文より抜粋)

辺見妙子



給食だより



【つぶつぶ雑穀】

野菜+雑穀でつくる簡単おいしいナチュラルレシピ

ヒエ つぶの色はオフホワイト。穀物の中で体をあたためる力が一番強く、味はクセがなくミルクィでやさしい。脂肪分が多くコクがある。

キャベツとヒエのつぶつぶスープ ～ふわわりミルクィな味わいスープ～

材料 ヒエ 大きじ2 (25g)、タマネギ 50g、キャベツ 100g
水 3+1/2カップ、昆布 5cm角、自然塩 小さじ1+1/5

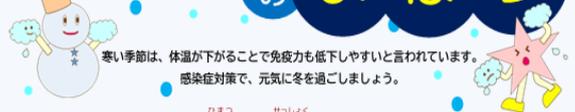
- 作り方**
1. ヒエは茶こしに入れて、水をかけて洗う。
 2. タマネギは、ヨコ半分、5mmの厚さのまわし切りにする。
 3. キャベツは一口大にちぎる。
 4. 鍋に2、3の野菜と洗ったヒエと水と昆布を入れて強火にかける。
 5. 沸騰したら塩を入れ、フタをしてときどき大きく混ぜながら、中火で30分煮込む。

Point

タマネギはヨコ半分に切ってから、5mmの厚さにまわしながら切る。



インフルエンザのよぼう



■ ■ ■ インフルエンザは、**飛沫感染**と**接触感染**が広がります

【飛沫感染とは】インフルエンザに感染している人の咳やくしゃみの飛沫に含まれているインフルエンザウイルスを吸い込むことによる感染です。

【接触感染とは】ウイルスが付いた手で、口や鼻・目を触ることによる感染です。

■ ■ ■ 感染予防のポイント

こまめな手洗い

- ・手洗いは、流水と石けんで丁寧に行いましょう。
- ・特に、帰宅時や咳・くしゃみで口を押えた後は、しっかりと。

むやみに顔をさわらない

- ・手に付いたウイルスが、口や鼻・目の粘膜から体内に入るのを防ぐため、顔をさわらないように気をつけましょう。

人ごみを避ける

- ・混雑する時間や場所を避けましょう。
- ・症状のある人に接触した場合は、手洗いなどをしっかりと。

咳エチケットを心がける

- ・咳やくしゃみが出るときは、マスクやハンカチなどで口と鼻をおおって「咳エチケット」を心がけましょう。

■ ■ ■ インフルエンザかな?と思ったら…

・症状(急な38℃以上の発熱、頭痛、関節痛など)が現れた場合は、登園・登校・出勤せずに医療機関を受診しましょう。

・安静に過ごし、外出は控えましょう。インフルエンザ発症の前日から発症後3~7日間程度は、ウイルスを排出すると言われる、この間は人にうつす可能性があります。

■ ■ ■ インフルエンザワクチンの予防接種について

・発症のある程度抑える効果や重症化を予防する効果があります。

山形県産産科保健所(保健企画課 感染症対策担当)

〒992-0012 米沢市金池7-1-50

☎ 0238-22-3002

☆ 感染症に関する出前講座を行っています。

お気軽にお問い合わせください。



おきひかちゃん

産地地域のみんなが健康に暮らすよう、地域の「おきひかちゃん」と一緒に、日々、感染症予防を呼びかけている。口くせは「ひかひかに手を洗ってね!」